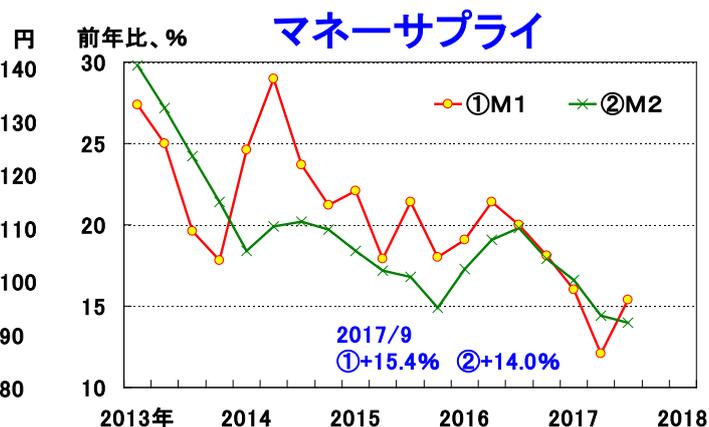
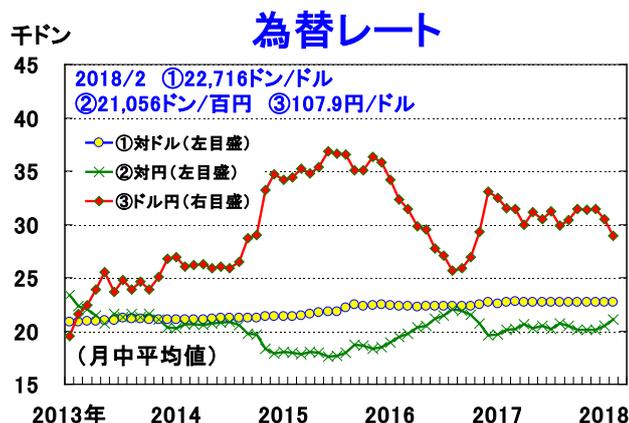
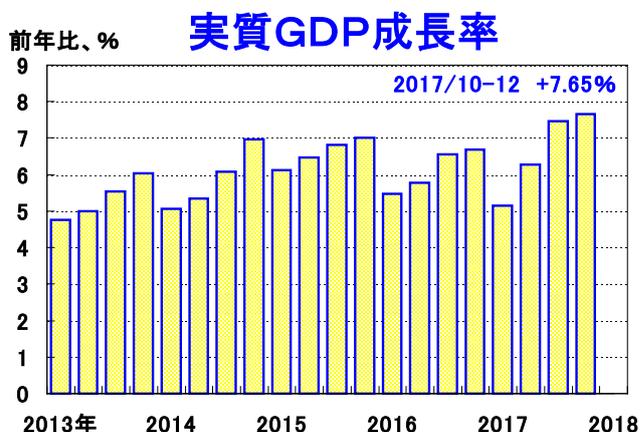
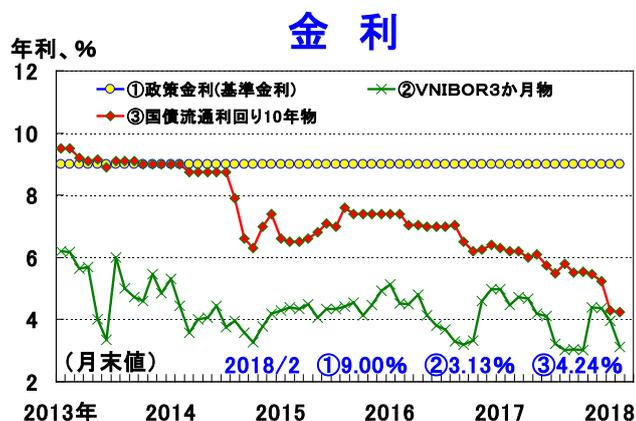


グラフで見るベトナム経済 2018年3月号(No. 98)

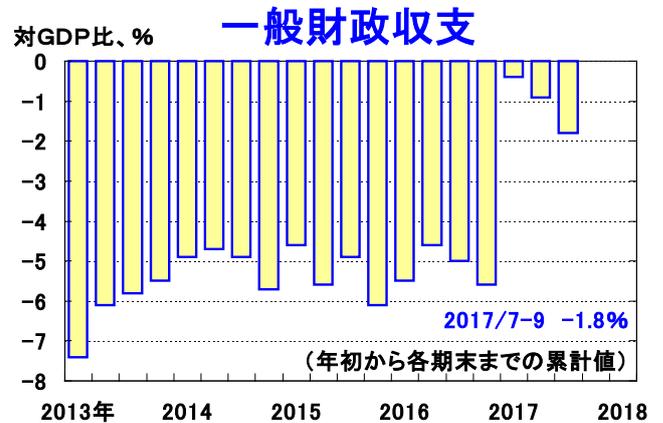
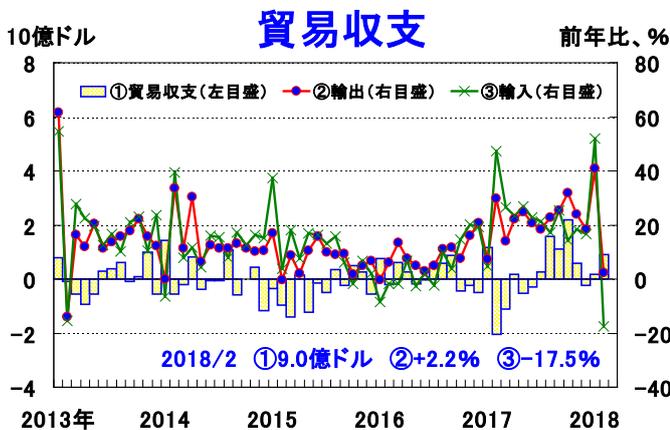
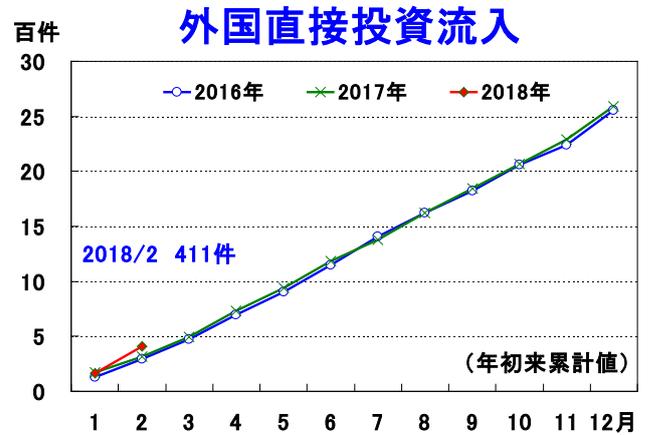
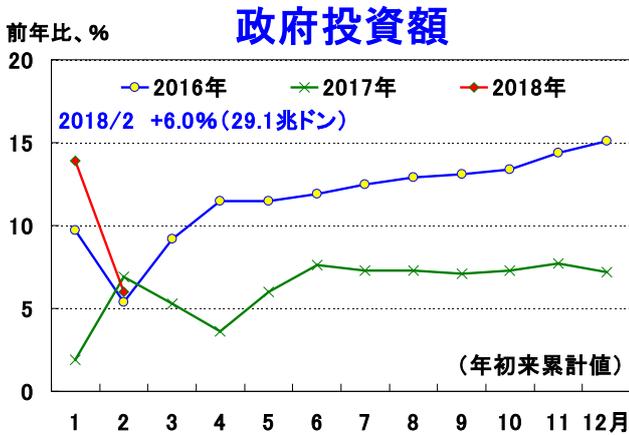
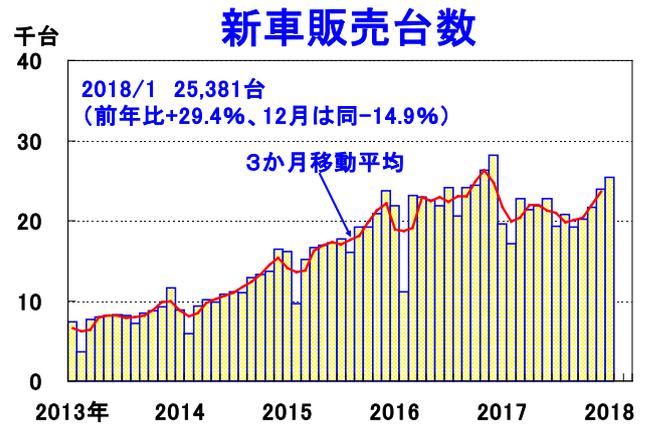
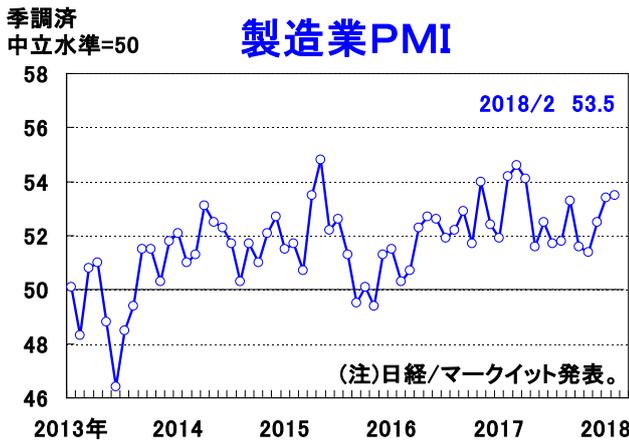
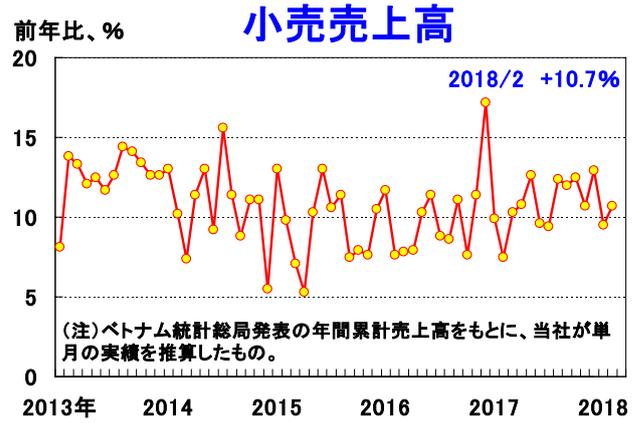
ベトナムの2月の景気指標をみると、今年のテト(旧正月)休暇がすべて2月内(14~20日)となった影響で同月の生産活動に関わる計数は弱めとなった。すなわち、輸出が前年比+2.2%(前月は同+41.0%)と2016年1月以来の低い伸びとなり、鉱工業生産も同+8.0%と前月の伸び(同+20.9%)を大きく下回った。ただし、製造業PMIが53.5(中立水準は50)と10か月ぶりの高水準に達しており、製造業の景況感は足元で改善している。一方、家計部門では、小売売上高が前年比+10.7%(前月は同+9.5%)と加速し、個人消費は堅調に増加している。



【今月のトピック:ベトナム投資省が地下経済の調査結果の公表を延期】ベトナム計画投資省は、地下経済の調査結果の公表時期を当初の2017年第4四半期から2018年第1四半期に延期する。計画投資省では、関連省庁から推計方法に関する意見のヒアリングを進めている。地下経済には、合法だが公的統計から漏れている経済活動と、麻薬取引のような非合法的な経済活動が含まれる。合法的活動としては、課税や労働規制を意図的に逃れている活動や自家消費のための生産活動などがある。ベトナム政府は、こうした活動を監視下に置きたい意向を強く持っている模様である。

(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。